



# 早稲田の杜金管合奏団

## 第2回演奏会

2002年2月17日  
会場 16:30 開演 17:00  
ルーテル市ヶ谷センター

*Special Posthorn in "As" produced by Meister Y.Yamase*

Designed by A.Morioka

WASE KING the 2nd CONCERT



# プログラム

## 第1部

1. オックスフォード伯爵のマーチ (ウィリアム バード) [北村・近藤・山瀬・久保・松田・大内・坪井・杉山・田中・川俣・塚田・山田・牛野・酒井・大原・小倉・石田・内田・赤尾]  
17世紀初頭のイギリス宮廷の儀式を彷彿とさせるもので、コンサートのオープニングにうってつけの曲です。
2. ルーマニア民族舞曲全5曲 (B.バルトーク) [大内・山瀬・川俣・塚田・山田・牛野・小倉・内田]  
元々はピアノ曲でしたが、原曲が素晴らしいせいで、様々な楽器のアンサンブルに編曲されています。
3. モルゲン・ムジーク全3曲 (P.ヒンデミット) [近藤・森岡・赤尾・小倉]  
ドイツの作曲家ヒンデミットがアマチュア用に書いたそうですが、体力的にはプロ並が要求されます。
4. 4つの日本舞曲 [桑原 洋明※] 委嘱作品 初演 [北村・坪井・杉山・塚田・牛野・酒井・内田・赤尾]  
この曲は、ヒョんなことでワセキンのCD(第1回演奏会)を聴かれた作曲家の桑原先生が書き下ろしてくださったものです。日本情緒溢れる大変素晴らしい曲で、一同、大感激です。  
曲は、日本各地の舞曲をモチーフとした4曲からなる舞曲集です。
  - ① 駿河、浅間神社の稚児舞 (静岡の浅間神社の稚児舞による神楽)
  - ② 舞楽 延喜楽 (雅楽より舞楽として使われる延喜楽)
  - ③ 和楽踊り (日光の盆踊り唄の和楽踊り)
  - ④ 新庄節、そして花笠踊り (山形県の花笠踊りと、それに彩りを添える新庄節)

※[桑原 洋明:国立音楽大学卒。作曲を高田 三郎、島岡 譲、ピアノを上原 広江らに師事]

5. タンホイザー大行進曲 (R.ワーグナー/森岡 篤 編曲) [北村・久保・山瀬・松田・大内・山田・川俣・塚田・田中・牛野・酒井・石田・赤尾・大原・内田・小倉] バンド[近藤・杉山・坪井]  
あまりにも有名なワーグナーの行進曲ですが、当団の音楽監督の森岡 篤の編曲により金管18重奏に生まれ変わりました。キョロキョロしてみてください。会場全体がオペラハウスになりますよ。

合唱 木管 9名。  
7/3 32/17 7/10+5

## 第2部

6. ポストホルン・ギャロップ (G.ケーニツ) [大内・山瀬・北村・松田・久保・川俣・山田・牛野・石田・内田・大原・赤尾・小倉・大内]  
当団のマイスター山瀬作のAs直管ポストホルンによるギャロップをどうぞ！途中でPicc.Tpとの喧嘩？が始まります。
7. コルネットの鐘 (R.ビンゲ) [北村・近藤・山瀬・杉山・松田・川俣・山田・牛野・大原・内田]  
らっぱを鐘に見立てたベルトーンの美しさをご堪能下さい。でも舞台では、ソロの4人が顔を真っ赤にして必死で吹いていますよ。
8. Ding Dong (フランス民謡/J.ウッドワード 編曲) [北村・坪井・近藤・杉山・塚田・田中・山田・牛野・酒井・赤尾・大原・内田・小倉]  
ディンドンてなあに？ それはね、教会の鐘の音のことよ。ほら、聞こえてきたでしょ！
9. 千と千尋の神隠し (久石 譲・木村 弓作/大原 実 編曲) [近藤・大内・北村・杉山・川俣・塚田・田中・山田・牛野・酒井・大原・小倉・赤尾]  
去年大ヒットしたあの映画から3つの名曲をピックアップして、当団のアレンジャー大原 実が金管アンサンブルに編曲しました。  
[あの夏へ/神さま達/いつも何度でも]
10. ノルウェー舞曲 第2番 (E.グリーグ) [大内・松田・川俣・山田・小倉]  
ノルウェーの人達ってこんなにのんびりしてたんだ！ということが良くわかるほのぼのとした曲です。
11. トロンボーン四重奏 (H.フィルモア/小田切 寛之 編曲) [内田・小倉・酒井・赤尾]  
ついにおれたちの世界が来た！とばかりに、トロンボーンが大あべれます。御期待を！  
[ラッスス・トロンボーン/ボーンズ・トロンボーン]
12. ニューヨークのロンドン子 (J.パーカー) [北村・坪井・近藤・大内・杉山・川俣・塚田・山田・牛野・酒井・大原・小倉・石田・赤尾・内田]  
今回の演奏会の最難関曲であり、そして最も多く練習した曲です。機関車の出発から始まります。  
[グランド・セントラル/ハーレムのエコー/クライスラー・ビルディング/ラジオ・シティ]

(※[ ]内はその曲の出演者で、左側から順に並んでいます。)



## § 第2回演奏会にあたり

なんと！ ワセキンが2回目のコンサートお？

みなさん、ごぶさたしております。お元気ですか。ワセキン(早稲田の社金管合奏団)です。2001年3月11日に初めてコンサートを開きました。結成のいきさつは1回目書いたとおりでございます。

(HPご参照。http://www5b.biglobe.ne.jp/~musica/w-king/)

うふふふ。その後、すぐに解散したんだろうって？ とんでもない。来日した世界の名金管アンサンブルの演奏会はもれなく聴きに行き、勉強会を重ねることしばし。特筆すべきはベルリンフィルハーモニー金管アンサンブル。終演後、メンバーと親しく懇談し、姉妹アンサンブルの提携も(ウソ)。懇談したのは本当です。

そして、なんと合宿練習までやったのだ。わははは。1回目のプログラムに記した「ワセキン誕生記」では、メンバー一人ずつの「戦後史」、じゃなかった「プロジェクトX」、じゃなかった「その後の人生」を17年かけて書き綴ろうと思ったのですが、いったん休止。1回目に登場した赤尾(トロンボーン)による「2001年の夏合宿記」を抜粋しながら記します。どうしてって？ 面白いんですよ。まあ、お読みくださいな。

なお、このメンバー(大半)で合宿するのは、たぶん27年ぶり(推定)です。

それは2001年8月25日と26日のことでした。(以下、赤尾達也による)

「合宿1日目。午前11時に八王子駅から八高線で出発。都心の八王子からわずか一時間で『こんなに自然が！』と車窓の景観に感じいりながら西武秩父駅着(八王子が田舎であるという説も)。森岡さんも同じ電車だったようで駅で合流、西武秩父駅にて前祝いのビールを飲みながら昼食。池袋から特急で来た杉山さんと合流し、バスで秩父ミュージックパークへ。予想以上に素晴らしい施設でビックリ。やがて全員揃って練習開始。」

「6時から夕食。練習場がディナー・ルームに変身。持ち込み禁止もモノともせず、わが内田幹事長殿はビールの樽を持ち込み、厨房の冷蔵庫で冷やしてもらうという離れ業を披露。幹事長殿はビール・サーバーなるものを取り出し固執。なかなかビールが注げない。にもかかわらず、なおも御執心。赤尾は勝手に別のビールを注ぎはじめ、幹事長殿に叱責される。」

「だれかが、食事をしながら妙なる金管合奏を聴こう、吹こう、と言い出し、皆、ほろ酔い気分のまま楽器を取り出し、初見大会を始める。中世の王侯貴族もかくありなん、という『ターフェル・プラスミュージック』が延々9時近くまで続く。9時ごろから再び森岡音楽監督による地獄の特訓が始まるものの、皆、少々酔っ払っていてヘロヘロに。10時過ぎに楽器を片付け、コテージへ移動。宴会開始。」

「合宿2日目。眠い目をこすりながら食堂へ。『起き抜けでメシなんか食えない』なんて言いながら、バイキングなので皆、オカワリ(川俣さんのことではない)を繰り返す。塚田さんは、朝から納豆を含め多彩なおかずにご飯もオカワリして、さらに杏仁豆腐の大盛りを平らげ、さらにさらにコーヒーまで飲んで、とても満足げであった。」

「チェック・アウト後、3台の車に分乗して同じ敷地内の『秩父市音楽堂』へ。残響がやや長めではあったが、想像を超える素晴らしいホールだった。9時過ぎから始めた練習も、あつと言う間に11時近くになってしまう。ここでまた、我らが内田幹事長殿が離れ業をやったのける。午前中だけ借りていたホールだったが、無料で午後1時までの延長を認めさせてしまったのである。さすが、世界を股にかけた商社マン。11時から無謀にも録音会に突入。トチルわ外すわ止まるわ。難行苦行であった。歳のせい、昨日の練習をもの見事に忘れ去っていた。」

「新幹線の切符をとっていた牛野君を、大原さんが西武秩父駅まで送ることに。時間が押していたので大原さんに先発してもらい、残ったメンバーで後片付けして、西武秩父駅で待ち合わせることにした。

片付け終わり、酒井さんご夫妻と別れて西武秩父駅へ。」

「ところが、どこを探しても大原さんがいない。胸中に、いろいろな不安がよぎる。『西武秩父駅と秩父線の駅を間違えたのでは。』『その場合でも、牛野君は熊谷まで出て、東北新幹線を使って東京へ出れば間に合うだろう。』とにかく、塚田さんと大内君に秩父線の駅まで捜索に行ってもらおう。残ったメンバーでメシ屋に入り、打ち上げのビールなんぞを呑みながら大原さんの行方について、無責任な想像を逞しくする。間もなく、秩父線の駅まで捜索に行った2人から連絡が入る。『行方不明』。どこへ行ってしまったのであろう。そうこうするうちに、隣のイベント広場で始まった『秩父太鼓』を見に出た川俣さんに連れられて、なんと行方不明の大原さんが現れた。大原さんは、駅周辺を一回りしているうちにすれ違ってしまったらしい。大騒ぎの『大原、牛野両君、行方不明事件』も大事に至らず、無事解決。解散。」

ああ、面白かった。え？ 自分たちだけ楽しかったんだろうって？ おあとがよろしいようで。

(坪井賢一)



## MEMBERS

### (CONDUCTOR)

森岡 篤(MURAMATSU K13)\*1

### (TRUMPET)

大内 仁(SCHILKE B, YAMAHA FL, YAMASE As \*2)

北村 和弘(BACH C/Es, HOLTON B, YAMAHA Picc.)

久保 正彰(BACH B, YAMAHA FL)/近藤 悦子(BACH B/C)

杉山 雅彦(BACH B/C, YAMAHA FL)/坪井 賢一(SCHILKE B, BACH C)

松田 泰昌(BACH B, YAMAHA FL)/森岡 篤(SCHILKE B)

山瀬 幸雄(SCHILKE B, YAMASE As)

### (HORN)

川俣 裕章(ALEXANDER 103MB)/塚田 義昌(ALEXANDER 200MB, 90G)

### (TROMBONE)

赤尾 達也(BACH)/石田 了(BACH)/内田 憲一(EDWARDS)/大原 実(CONN)

小倉 啓美(COURTOIS)/酒井 忠雄(KROMAT BASS TROMBONE)

### (EUPHONIUM)

山田 徹(HIRSBRUNNER)

### (TUBA)

牛野 広一郎(MEISTER ANTON C)

### (PERCUSSION)

田中 厚(RENTAL)

※1 ( )内は、本日の使用楽器です。

※2 『YAMASE As』は、YAMAHAの誤りではなく、当団のマイスター山瀬幸雄による作品で、「As直管ポストホルン」のことで。本日の演奏会のために自宅にあったガラクタ、じゃなかった金属の平板からベルを叩き出すという高度なワザによって製作した実に見事な楽器で、山瀬工房の代表作となるでしょう。本日は正真正銘の自作自演となります(拍手)。

ー以下、山瀬幸雄による製作記ー

11/10 (2001)某金管バンドの練習からの帰路、川俣氏より携帯へ「As管のポストホルン2本作ってくれ、なんか真っ直ぐなやつ…演奏者付きで…」ここでピンと来た。たしかフィリップ・ジョーンズの初来日コンサートでのアンコール……

「製作は了解、ただし演奏者は付けない…」と即答。同乗の某嬢、女房は「安請け合いは身を滅ぼしますよ」と…

実は、若かりし頃(今でも…)パッハのブランデンブルグ協奏曲に果敢にも挑戦(結果はご想像に…)、以来 楽に吹ける Picc. Tpの研究にのめり、試作ベルが何本も転がっている有様。あれが始末できれば一石二鳥、ちょうどコルネット製作用にパイプ材も買ってあるし…とすぐ着手。12/4には完成、12/16練習に持参。真っ直ぐだから簡単でしょ…と言われる方にこの楽器の秘密を…。フィリップ・ジョーンズの演奏に比べて絶対音程が良い。(もし 悪かったら演奏者が悪い)。

Picc. Tp系によくあるオクターブ音痴はマウスパイプの設計不良、故にこの楽器ではマウスパイプを思いっきり絞り、コルネットシャンクとしている(昔のアメリカ製Picc. Tpはみなこうだった)。本日は山瀬工房・図面番号2番と3番のベルによる……。エッ! ブランデンブルグはどうなったかって? それは音色を聴いていただければご理解いただけるはず…。

## 応援します。あなたの専門店「ダク」



初心者からプロまでの  
あらゆるご要望に  
お応えします。

管楽器のことなら何でも  
お気軽にご相談ください。



<http://www.perinet.co.jp/users/dac/>

管楽器はダクで。

新大久保

電話のお問合せ  
☎(03) 3232-8631

(株)ダク FAX(03) 3232-8080  
(〒169-0072)東京都新宿区大久保1-16-15

営業時間 10:30~19:00  
(※日祝日は18:00まで)



「ダク」の運営する  
新しいタイプのミュージックスクール  
クラシックコースとポピュラー&ジャズコース  
全13パート、随時生徒募集中!  
MUSIC SCHOOL  
Da Capo

●入会のお問合せはお電話に  
☎(03) 3361-4110  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-6-4  
※「ダク」でもお問、合わせを受けております。